

第39回 全国育樹祭

手から手へ 豊かな緑で ぼくらの未来

全国育樹祭とは、皇太子同妃両殿下によるお手入れ（全国植樹祭において天皇皇后両陛下のお手植え・お手播きにより成長した木の枝打ちなど）や参加者による育樹活動を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に、各県が持ち回りで毎年秋季に開催しているものです。

今年の全国育樹祭は10月11日（日）に揖斐川町谷汲で開催されます。また、県内3カ所（高山市、郡上市、池田町）で併催・記念行事があり、そのうちのひとつ「森林・林業・環境機械展示実演会」は10月11日（日）・12日（月祝）にモンドウス飛騨位山スノーパーク（一之宮町）で開催されます。

※詳細は決まり次第「広報たかやま」などでお知らせします。

全国育樹祭の開催に向けて、県内全市町村が「リレー形式で丸太を運ぶ」「100年の森づくりリレー」が開催中

り上げるとともに、世代をつないで、県民の貴重な財産である森林を守り育てていくことの大切さを啓発するため、県内5カ所それぞれ、樹齢100年を超える

スギやヒノキの大きさを伐採。そして、市町村をリレー形式でつないだ後、揖斐川町の全国育樹祭会場まで運ぶ「100年の森づくりリレー」が行われています。

6月14日に上宝町蔵柱で伐採された宝スギは翌日、市内を曳き回した後、飛騨市や白川村へと引き継がれ、揖斐川町に運ばれます。

日本一広い高山市の約92%は森林です。森を知り、森に親しみ、森を育むことは、わたしたち高山市民が率先して取り組む身近で大切な一歩です。今回の森づくりリレーを契機として、みなさんも身近なことから始めませんか。

問合せ 林務課 ☎3513143

県内各地で行われた木曳のようす

(中津川市・5月3日)



(下呂市・5月17日)



上宝町蔵柱で伐採された宝スギは樹齢100年、樹高37m、直径91cmに及び大木で、県内伐採木の中で最大です。

第3回高山市議会定例会

6月1日から開会した第3回高山市議会定例会は、6月19日に閉会しました。今回の議会では、市税条例の改正や2億4千万円余の一般会計補正予算などの案件が可決されました。なお、請願1件については不採択となりました。

主な成立案件

■報告案件(5件)

▽損害賠償額の専決処分

▽継続費繰越計算書（一般会計）ほか

■条例案件(3件)

▽市税条例の改正

▽国民健康保険条例の改正

▽介護保険条例の改正

■事件案件(7件)

▽市有財産の無償譲渡（上青屋公民館、半田集会所、山本集

会所、三川コミュニティセンター）

▽水槽付消防ポンプ自動車の取得ほか

■予算案件(3件)

▽総額2億4千万円余の一般会計補正予算（ふるさと寄附贈呈品の増額、留守家庭児童対策事業の拡充、昨年末の大雪によって破損した施設の修理や倒木の処理に対する助成ほか）

▽総額1,100万円の国民健康保険事業特別会計補正予算（高根診療所屋根修繕）

■人事案件(1件)

▽人権擁護委員候補者に加藤雅宏さん（上岡本町1）を推薦することへの同意

■議員発議(2件)

▽平和安全法制整備についての慎重審議を求める意見書ほか



問合せ

議会事務局
☎3513152